樹木の剪定に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1．生垣の刈込みを行う際は，萌芽力が落ちるのを防ぐため，毎年，同じところを刈り込むのがよい。
2．枝おろしは，徒長枝，立ち枝，逆さ枝など樹形を乱す枝や密生した枝など，さほど太くない枝を間引く剪定である。
3．落葉樹について，樹枝の骨格をつくるための基本剪定を行う場合は，冬期に行うのがよい。
4．樹木に対する強剪定は，樹木全体の生長が抑えられ，徒長枝の発生抑制に有効である。
5．摘心は，樹形維持のために，芽の伸びる方向に注意しながら，伸びすぎた枝の徒長枝が分岐するところで切り縮める作業である。

〔正答番号〕3

都市公園の計画・設計における次の作業のうち，一般に「基本計画」や「基本設計」段階では行わず，「実施設計」段階で行うことが最も適当なのはどれか。

1．公園の利用者層を踏まえた需要予測
2．計画地の立地条件の解析
3．施設詳細図の作成
4．概算工事費の算出
5．管理運営計画の作成

〔正答番号〕3